

1. 裁判手続等のIT化ニーズ・課題

- ・書類（紙）の作成・保管・郵送コスト
- ・遠隔地の裁判、物理的な移動時間
- ・訴訟記録の電子的管理
- ・訴訟全体のスケジュール管理・期日調整
- ・判決の電子化・公開
- ・訴訟から執行までのシームレスな手続
- ・倒産・執行（競売）のIT化

2. 諸外国の動向

3. 裁判手続のIT化の内容・範囲

(1) 申立てや記録の電子化

① 裁判手続

- ・手続（申立て）・裁判を電子のみか、紙と電子の併存か
- ・送達のやり方

② 訴訟記録

- ・原本は紙か電子か、併存か

3. 裁判手続のIT化の内容・範囲（つづき）

(2) 事件管理の電子化

- ・進行や裁判記録(期日情報を含む)のあり方

(3) 法廷の電子化

- ・テレビや電話会議の対象拡大など

(4) IT化で念頭に置く民事紛争の対象、優先度

- ・民事訴訟
- ・民事非訟（倒産・執行（競売など））

(5) 審理の効率化・迅速化を進めるIT化方策

4. 本人訴訟に対応する方策

- ・紙の併存か、サポート体制か

5. 情報セキュリティ対策の在り方